

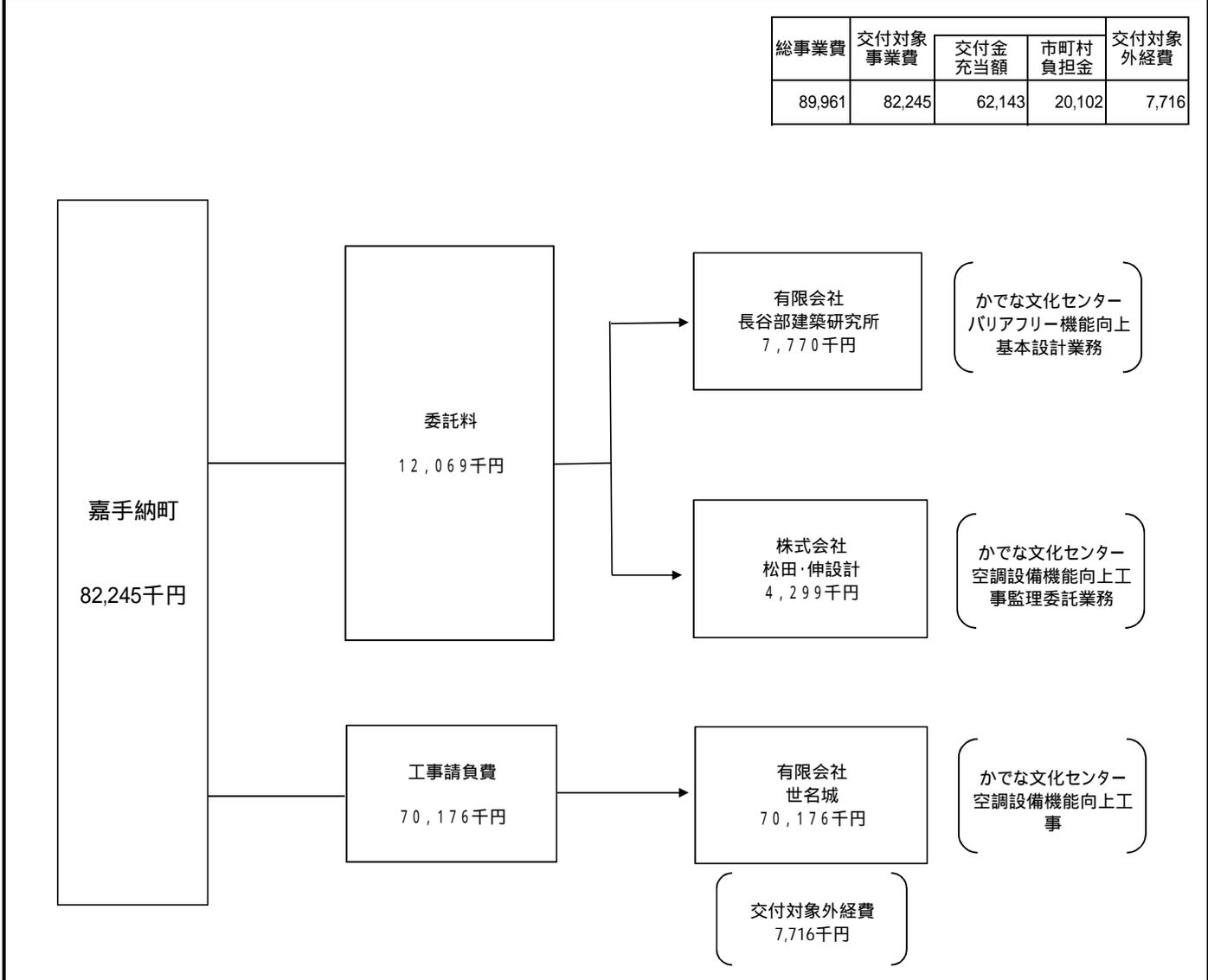
市町村名		嘉手納町					
平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	嘉手納町文化センター機能向上事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-(イ)	
担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 -1-(1)	
事業内容	滞在型の観光振興促進を図るため、音楽や芸能、講演会など様々な催事に対応できるよう、かでな文化センター施設の機能向上を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	
		(a)当初予算額	274,754	12,853	-		
	(b)予算現額	273,840	89,394	-			
	(c)増減額(b-a)	914	76,541	-			
	(d)繰越額	-	-	52,140			
	A.計(b+d)	273,840	89,394	52,140			
	B.執行済額	273,840	37,254	44,991			
	うち交付金充当額	218,570	29,803	32,340			
	次年度繰越額	-	52,140	-			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	41.7%	86.3%			
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー基本設計業務委託料と、空調設備機能向上工事の一部(前払金40%)は25年度内で執行済である。 ・25年度当初は、バリアフリー工事に関する設計のみを予定していたが、空調設備機能向上工事を追加したため76,541千円を増額した。 ・空調機器が受注生産となっており、機器の納品が3月末となってしまったことから、当初予定の完了工期までに引き渡しが出来ず、工期を延長し、平成26年度に繰越した。 ・繰越手続きに際し、一部を対象外経費として整理したことにより不用額が発生している。 						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	バリアフリー機能基本設計	目標	(基本設計書作成)	()	()	()	()
		実績	基本設計書作成済				
	空調設備機能向上工事の実施	目標	(空調設備機能向上工事実施)	()	()	()	()
実績		空調設備機能向上工事実施済					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・かでな文化センターのバリアフリー機能向上に向け、基本設計を施設や周辺環境の調査を行い作成した。 ・空調設備機能向上工事は、平成25年度に工事、及び施工監理を実施したが、空調機器の納品時期の変更により、工期を延長し平成26年度に繰り越した。 ・空調設備機能向上工事をを行いホール内の空調の稼働操作の管理を事務室で行えるようになった。その他、庁舎内の空調と一括管理されていた各控室等が個別に管理できるようになった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	バリアフリー機能基本設計書作成	目標	()	(基本設計書作成)	()	()	()
		実績		基本設計書作成済			
	空調設備機能向上工事の実施	目標	()	(空調設備機能向上工事実施)	()	()	()
		実績		空調設備機能向上工事実施済			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・かでな文化センターバリアフリー機能向上工事に向けての基本設計書を作成し、バリアフリー工事への方針を決定した。 ・使用しない部屋について個別に作動を停止させることができるようになり、費用の大幅な削減が可能となった。 ・各部屋で温度設定等の操作も可能となり、利用者が使いやすい環境を提供することが可能となった。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・施設内の移動は、階段を利用しなければならず、車いす利用者、高齢者等には、使用しづらい状況があったが、利用者にとって使用しやすい施設にするため、施設のバリアフリー化にむけて工事の基本設計を行った。</p> <p>また、施設の空調稼働については、各控室は役場庁舎と一括管理、ホール等の空調は機械室で手動で行っていたが、ホール等の空調は、事務室での稼働が可能になり、各控室は、個別稼働できるようになり、個別利用も可能となった。</p> <p>しかし、空調機器が受注生産のため、工期内で工事を完了させることができず、26年度に繰越すこととなった。</p>	<p>・建物の立地条件等の調査や、工事費の概算金額を算出する基本設計を実施したので、今後は具体的な工事にむけた実施設計が必要となる。</p> <p>また、当初計画より工期が遅れてしまったので、今後、事業実施に際しては、事業関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、受注生産である機器等を発注する際には納品日を考慮しての工期設定を行う。</p>

今後の取り組み方針

・文化センターのバリアフリー機能向上にむけて平成26年度に実施設計を行い、平成27年度に機能向上工事を施工する。
 ・事業関係者と意思疎通を緊密にし、契約期間内の円滑な事業遂行を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>・工事請負業者、委託事業者については、指名競争入札で実績等を考慮し選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>・予算規模については、複数の業者より、見積もりを徴し、積算を行っているため妥当であったと考えている。</p> <p>・費目、用途については、かてな文化センター施設の機能を向上するため、バリアフリー工事基本設計、空調設備工事は、事業目的に沿った支出と判断するため適正であると考え</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町
------	------

平成25年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1- 嘉手納町比謝川緑地広場整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-(イ) 圏域の特色を生かした産業の振興
担当部課名	都市建設課	事業実施(予定)年度 平成24～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所 -1-(1)

事業内容	体験型・滞在型の観光振興の強化を図るため、現在エコツアーを開催している比謝川において観光客や施設利用者の利便性を高める受入基盤の整備を行う。				
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度
		(a)当初予算額	20,400	14,000	-	
(b)予算現額	20,400	14,000	-			
(c)増減額(b-a)	0	0	-			
(d)繰越額	-	-	5,563			
A.計(b+d)	20,400	14,000	5,563			
B.執行済額	20,075	0	5,562			
うち交付金充当額	15,650	0	3,948			
次年度繰越額	-	5,563	-			
執行率(%) (B/A)	98.4%	0.0%	100.0%			
予算の状況の説明	平成25年度事業計画では、基本設計、実施設計を予定していたが、より良い計画を策定するために基本計画策定業務を実施することとしたため、8,437千円の不用額が発生した。また、発注者、受注業者で先進地視察等を行い、検証した結果、当初予定していた事業規模では計画施設の有効利用が難しく、計画箇所のさらなる調査拡大を行う必要が生じたため次年度へ繰越した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
受入施設の設計の実施	目標	(受入施設の設計の実施)	()	()	()
	実績	受入施設の基本計画の実施			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	平成25年度事業計画では、基本設計、実施設計を予定していたが、より良い計画を策定するために基本計画策定業務を実施することとなったため活動目標を達成できなかった。 ・関係者ヒアリングを行い、カヌー事業を運営するにあたり、現在の運営状況や、専門的意見を徴取した。 ・嘉手納町緑地広場を整備するにあたり問題や課題等を把握し整備に向けた方向性を確認するため、ワークショップを行った。 ・上記内容を踏まえ、整備計画の基本的な計画や、施設計画の方針等を取りまとめた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
			受入施設の設計の実施(駐車場、カヌー倉庫、トイレ、シャワールーム、ロッカールーム、研修室等)	目標	()	(受入施設の設計の実施)
	実績		受入施設の基本計画の実施			
	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	平成25年度事業計画では、基本設計、実施設計を予定していたが、より良い計画を策定するために基本計画策定業務を実施することとなったため成果目標を達成できなかった。基本計画策定業務では、ワークショップや先進地の視察を行い、嘉手納町比謝川緑地広場整備事業に対する関係者や、事業者、商工会等の要望を把握することができた。また、施設の規模、施設の配置場所、駐車場の駐車可能必要台数の検討、施設進入道路の検討、カヌー乗入れ場所の検討等を行った。 今回策定した基本計画策定を基に平成26年度事業の基本設計へ反映する。					

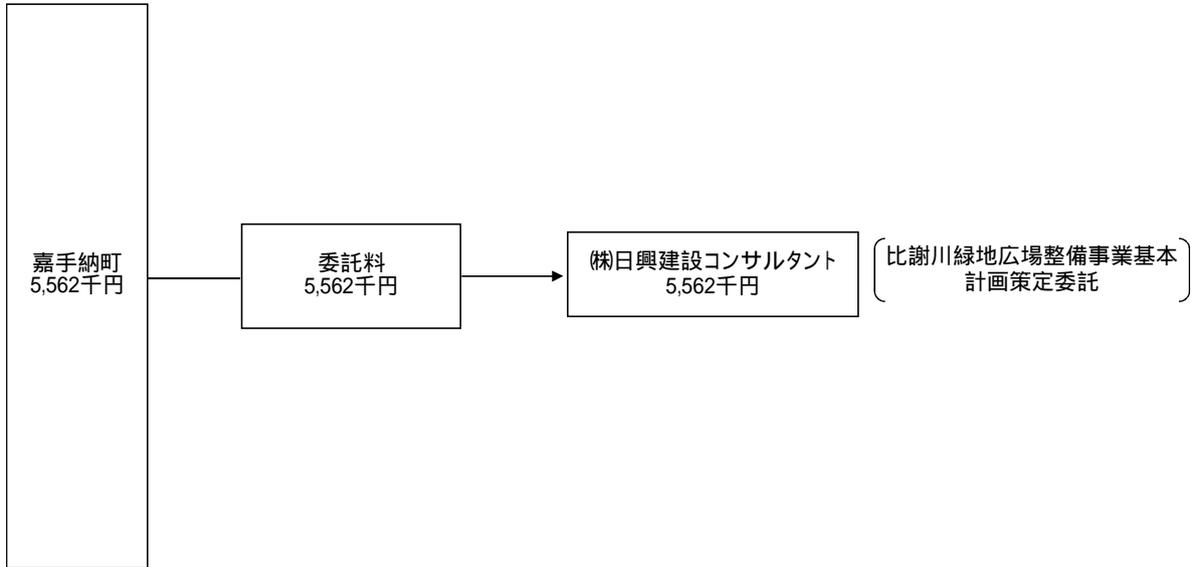
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>比謝川を観光資源としてさらに活用するため平成25年度は受入基盤整備に向けた比謝川緑地広場整備事業基本計画策定委託業務を行った。当初は平成25年度に基本設計を予定していたが、より良い計画を策定するためワークショップにより意見集約などを行う必要が生じ事業内容を変更した。ワークショップを行った結果、カヤック乗降場所の整備、アクセス道路の整備、サイン、駐車場整備についての課題が出てきており、この課題を解決していく必要がある。</p> <p>先進地視察より、施設管理運営に係るヒヤリングを実施した。ヒヤリング等の結果から指定管理での管理か、直営での管理等の課題が浮上した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> カヤックの乗降等は予定施設付近に浮桟橋等を設置し、円滑に乗降できるように検討する。 道路については幅員を現状より拡幅できるか検討する。施設整備予定地が幹線道路からわかりづらく各所にサイン等を設置する。駐車場においても大型バスが進入、旋回できるよう検討する。 先進地視察先施設管理運営者による管理運営に係るヒヤリング結果より、概算施設管理費を試算し管理方法の検討を行う。 <p>基本設計において、これらの課題について検討していく。</p>

今後の取り組み方針

多くの人々に利用される施設を整備する為、平成25年度にとりまとめた基本計画に基づき平成26年度は基本設計を行う。
 今後の事業予定として、平成27年度にアクセス道路の実施設計、平成28年度に施設の実施設計、アクセス道路の整備工事、平成29年度以降に施設の整備工事を予定している。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,562	5,562	3,948	1,614	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○当初計画していた事業内容が変更になったため不用額が発生した。 費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		